



編集・発行 山見妙能勢
山見妙能勢報部
〒563-0132
大阪府豊能郡野間中
電話 072-739-0329
FAX 072-739-2883

年頭に心がけるべき ワンポイント

日慧

新春を迎えてご挨拶申し上げます。本年も何卒よろしくお願い申し上げます。今年も何卒よろしくお願ひ申しあげます。今年(つちのえいぬ)の年です。イヌといふと「犬」の字を思い浮かべます。私のそばには生まれつきから、いつも犬がおりました。大きな犬を飼っていたときは、犬小屋で一緒に寝たこともあり。特に想い出に残る犬は、先代が友人からもらい受けてきた柴犬でした。我が家では唯一一匹だけが、血統書をもつ犬でした。とても賢い犬で、彼には自分の名前を自分の口から言わせようと考へて、「イチ」と名付け

ました。それからは彼に名前を聞くと、ちゃんとしかも英語で「ワン」と答へるようになりました。ところで今年の干支(えと)である戌は犬と読み方は同じでも意味は少し違っています。戌(いぬ)は成の字を見れば判るように、草木が老成し熟すという意味を持っていきます。時刻でいえば、夕餉を迎える一番気持ちの休まる時期です。ただ熟した状態というのは頂点を迎えた時期ということで、この先はもう尽きた状態、つまり衰えを表す字であるとも言えます。これに対して、戌(つちのえ)は、上にクサクナムリをつけると判るように、草木が盛んに茂っている様

子を表します。また時刻でいえば、日の出の前後で非常に勢いのよい時刻を表しています。戌戌となると、このように物事の始まりと、その終わりの結果を端的に表していると考えられます。今まで積み重ねてきた努力の結果を享受出来る年であるとともに、反省すべき点は素直に改めて、これからの目標をしっかりと立てて歩み始

めるべき年でもあるということ。宗祖日蓮大聖人は『立正安国論』に「汝早く信仰の寸心を改めて、速やかに実成の一善に帰せよ」と説いて、仏の説かれた唯一最高の教えである法華経を信ずべきだと示されました。信仰に限らず、過去を見つめ直し、新たな境地に踏み込む大事な年だと心すべ

《法華経に学ぶ現代》

純智庵

常に

柔和にして

能く忍び

一切を

慈悲して

懈怠の心を

生ぜざれ

年明けに届いた仏のメッセージ

暗い時代の今なれば

怒らず愚痴らず貪ほらず

心は柔和に耐え忍び

恨み心を解き放て

慈悲の教えは希望の種ぞ

怠けず焦らず育めば

『安樂行品第十四』

明るい未来はきつと来る

【1月の主な行事】

☆正月歳始祈禱 1日〜15日

★書初め写経会 14日(日)11時

★月例祈願法要 15日(月)13時

★月例祈願法要 22日(月)15時

★月例祈願法要 22日(月)15時

当日は火伏守札を授与

【2月の行事予定】

★節分星祭祈禱 3日(土)

◎当年星供ともいい、この一年の善星皆来・悪星退散を祈つてご祈禱します。

★国権会々お火焚祭り 11日(祝)10時から法要

★月例祈願法要 15日(木)13時

★月例祈願法要 22日(木)15時

★月例祈願法要 22日(木)15時

★月例祈願法要 22日(木)15時

★月例祈願法要 22日(木)15時

★月例祈願法要 22日(木)15時

★月例祈願法要 22日(木)15時

★月例祈願法要 22日(木)15時

★月例祈願法要 22日(木)15時

★月例祈願法要 22日(木)15時

★月例祈願法要 22日(木)15時

★月例祈願法要 22日(木)15時

★月例祈願法要 22日(木)15時

★月例祈願法要 22日(木)15時

★月例祈願法要 22日(木)15時

★月例祈願法要 22日(木)15時

★月例祈願法要 22日(木)15時

★月例祈願法要 22日(木)15時

★月例祈願法要 22日(木)15時

★月例祈願法要 22日(木)15時

《送迎車の案内》

能勢電鉄のケーブル・リフト

運休の期間、御祈禱・回向等

を受けられる方、奉賛会会員

の方は、能勢電鉄妙見口駅、

妙見山上の間を能勢妙見山から

送迎車を出します。

事前予約が必要ですので妙見

山事務所までご連絡下さい。

電話072173910329

コツコツのコツ

小林 謙照

新年明けましておめでとうございます。さて、みなさんは新年の目標を立てましたか？

僕は毎年目標を立てて、一度も達成したことがありません。むしろ、去年の目標すら覚えていません。いつも身の丈に合わないハードルの高い目標を設定していた気がします。

みなさんの中にも同じ経験をした方がいるのではないのでしょうか。

そこで、みなさんに朗報です。最近読んだ「小さな習慣」という本の中に目標を達成するためのとても簡単なテクニクが書いてありました。そこには、長期的な目標を達成するためには「小さすぎて失敗のしよ
うがない行動を習慣化すること」が非常に有効です、とありました。

著者は健康管理のために運動を習慣化したいと考えて、毎日「腕立て伏せ一回チャレンジ」を開始しました。今では三十分の本格的な筋力トレーニングに発展したそうです。

ポイントは「一回だったら簡単！」と認識することで、躊躇なく腕立て伏せの姿勢になることでした。一度その姿勢になってしまえば、ほとんどの人が一回以上腕立て伏せをするのではないのでしょうか。もちろん一回でも目標達成ですのでそこでやめても問題はあり
ません。ハードルを低く設定し「一回できた！」という成功体験をコツコツと積み重ねることが大切とのことです。

さて、日蓮宗で読む經典は法華經という大乘仏教のお経です。大乘仏教の目標は「生きとし生けるものすべてを救う」ことです。壮大ですね。途方に暮れるく

らいい壮大ですね。これを先程の小さな習慣に照らし合わせるとどうなるのでしょうか。小さすぎて失敗のしよ
うがないこと。僕は「一日一回ニコツとすること」にしました。この小さな習慣がどのように発展していくか、自分でも楽しみです。

結婚しなくても幸せになれるこの時代に、私は、あなたと結婚したいのです。
これはとある結婚情報誌のキャッチコピーで、多くの方の共感を呼んでいると評判だ。
結婚すべきだとの考えも世間に根強く残ってはいるが、若い世代を中心に、よく言うて
らい壮大ですね。これを先程の小さな習慣に照らし合わせるとどうなるのでしょうか。小さすぎて失敗のしよ
うがないこと。僕は「一日一回ニコツとすること」にしました。この小さな習慣がどのように発展していくか、自分でも楽しみです。

☆☆☆☆星のたより☆☆☆☆

くれたと感じている方が多いのだらう。
私たちは過去の習慣の延長で行っている事がたくさんあるが、その意義を忘れて形だけになってしまっていることも多い。
年の始めの今、あえてそれをする意義をゆっくり考えてみてはどうだろうか。
U.K

俳壇 (みのり)
賜りし命はひとつ初日影
初鴉一灯ともす堂明し
本堂の供華に彩添ふ実千両
悔もあり永き人生年を越す
はんなりとおめでとうさん京なまり

暦のあれこれ

暦と人々(五)

戦国時代の軍師は作戦や外交を手がけたわけですが、それとは別に暦を元に合戦に必要な日時、方位の吉凶を占う役割もありました。そんな吉凶を占える軍師を別名軍配者と呼んでいたようです。
そんな軍配者は暦を元に合戦の吉日、凶日を選び方角も細かく選定していたのですが現実的な戦国大名等はそれに従わない者も多くなりました。有名などころでは中国地方の大名の毛利元就がいます。
弘治元年(一五五五)の厳島の戦いでは、陶晴賢の軍勢二万を暦を逆手に取り不意打ちで打ち破っています。
陶軍は軍師に従い、凶日の戦いを避けましたが、毛利軍は相手の動かない凶日にあえて出陣して勝利しています。暦に縛られる者と縛られない者。戦国時代はそんな時代の転換期だったのでしょうか。